

平成27年度冬季特別展覧会

わび・さびの美学から  
清雅な文人趣味まで

# 八代焼の 茶道具と花入



●花入 八代焼 象嵌梅樹文面取花入  
江戸時代(18世紀) 博物館所蔵



●煎茶の道具 八代焼 染付沢瀉文煎茶器  
昭和(20世紀) 博物館所蔵

●日本最大の「八代焼」コレクション

平成3年秋の開館時には1点もなかった博物館蔵の八代焼が、現在では180点余、寄託品も含めると300点近い堂々たるコレクションになりました。

●茶聖・千利休の精神を伝える八代焼

茶道具と花入の名品50点を精選して紹介。利休から三斎へと受け継がれたわび・さびの美学、そして幕末明治期に大流行した清雅な文人趣味まで、普段使いの器とは一味違った八代焼の魅力を心ゆくまでご堪能ください。

特別講演会

八代焼象嵌を考えるー朝鮮半島、九州陶磁の比較からー

体験講座

江戸時代の八代焼にふれる

とき／3月5日(土) 午後2時～3時30分 ところ／博物館講義室 ※聴講無料  
講師／佐賀県立九州陶磁文化館 学芸課長 家田淳一氏 定員／80人(予約不要)

とき／2月27日(土) 午後2時～3時30分 ところ／博物館講義室

参加費／300円(テキスト代) 定員／20人(申込順・小学生以下は保護者同伴)

講師／本館学芸員 石原浩 ほか

申込み／2月8日(月)から電話で博物館 ☎345555 へ 午前9時～午後5時



●茶の湯の道具 八代焼 鉄釉半筒茶碗  
江戸時代(17世紀) 松井文庫所蔵

2月12日(金)～3月27日(日)  
八代市立博物館未来の森ミュージアム

◎観覧料／一般 400円(320円) 高大生 300円(240円) 中学生以下無料

※(一)内は20人以上の団体料金 ◎休館日／毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

◎主催／博物館・八代市 ◎共催／八代市立博物館友の会(博物館友の会25年記念事業)

博物館 〒866-0863 西松江城町12-35 ☎34-5555 FAX33-9200 <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

編集と発行 〒866-8601 八代市役所総務部広報広聴課 ☎33-4111  
印刷 緒方印刷所